

## 修学旅行を終えて

10月3日～10月6日の北海道への修学旅行、悪天候のときもありましたが無事に終えることができました。この修学旅行を通して、46回生一同は一人の人間としても集団としても大きく成長することができました。今回の学年通信では感想文や写真を掲載しています。また、今回の修学旅行を予定通り実施できたのは保護者のみなさまのご協力のおかげです。厚くお礼申し上げます。

## 「修学旅行とこれからの学校生活」

## 1組 男子

僕が修学旅行を通して学んだことは二つあります。一つは集団行動の大切さです。修学旅行前の結団式で岸本先生がおっしゃっていた「一人だけが楽しんではいけない。全員が楽しかったといえる修学旅行にしよう。」という言葉が印象に残りました。最初この言葉を聞いたときは正直ピンときませんでしたが、北海道に着いて日にちが経つにつれて意味が少しずつ分かってきました。部屋移動をしてはいけないというルールがあったのにルールを破った人がいたらしく、それを聞いた僕は気が重くなりました。

また、この感想文を書きながら修学旅行を振り返ると、楽しかったときはいつも自分の周りに友達がいることに気がきました。修学旅行が成功した秘訣は、全員が自分たちは一つの集団だという自覚を持っていたことだと思います。

二つ目は植松さんの話です。植松さんは「違うは素敵」や「思うは招く」など、僕たちの価値観を変える魔法のような言葉を持っていました。話を聞く前は「ロケットを作るなんて自分は不器用だから無理だ。」と心のどこかで思っていました。分からないところを友達に聞いて協力しながら見事完成させることができました。自分のロケットが飛んだ瞬間、うれしさとともに達成感を味わうことができました。

今後の学校生活では、学校という集団で生活する場での人と人のかかわりを大切にし、「どうせ無理」という考え方から「思うは招く」という考え方に変えていこうと思います。

## 3組 女子

私が今回の修学旅行を終えて感じたことは人と人との出会いを大切にしていきたいということです。この旅行中、たった四日間とはいえバスの運転手の方、植松電機の社長さん、ラフティングの指導者など、多くの人と関わる機会がありました。そのなかで出会って間もない私たちに、親身になって全力を尽くしてくださっているのを感じ、一期一会という言葉をもっと実感した気がしました。

私の中で一番印象に残った体験はラフティングです。正直最初は怖いという印象が勝っていて、落ちたらどうしようなどとネガティブな想像しか浮かびませんでした。でも実際にボートに乗り込んで水を漕いでいると、次第にそういった心配もなくなり、自然ならではの不規則な流れを楽しむことができました。修学旅行を通して知識的な学びはもちろんですが、日常的なマナーや心掛けも学ぶことができました。修学旅行を通して知識的な学びはもちろんですが、日常的なマナーや心掛けも学ぶことができました。修学旅行を通して知識的な学びはもちろんですが、日常的なマナーや心掛けも学ぶことができました。

## 5組 男子

人生で初めての北海道でしたが十月ということもあり思っていたよりも寒くなく、涼しくて過ごしやすい気候でした。この修学旅行で一番印象に残っているのは植松電機の社長の話です。社長の話の中でまず驚いたのは、学歴や成績が就職に関係しなくなっているということです。暗記や情報処理能力の秀でたAIロボットなどができており、人間はその分野では勝つことができません。しかし人間はAIロボットにはできない、何かを新たに生み出す「考える力」があり、それが今後必要になってくるというお話でした。自分も暗記力や情報処理能力だけでなく、「考える力」を養っていきたいです。他にも、みんなと違うことの大切さについて話をさせていただきました。みんなと違うから変ということではなく、みんなと違うからこそ人にもない強みや長所があるという考え方に感心しました。最後に社長は「思うは招く」とおっしゃっていました。どんなに周りに反対や否定をされても、思い続けることが大切だということです。その言葉を信じて日々頑張っていきたいです。



一日目 植松電機

## 2組 女子

私は中学生の時から北海道に行ってみたくてずっと思っていたので、今回の修学旅行をとっても楽しみにしていました。修学旅行前は友達と毎日北海道の天気予報を見ました。四日間とも雨の予報でとても不安でした。一日目と二日目は天気持ちましたが、三日目は雨でした。特に最終日の朝は警報がでていたので、観光ができるのか、飛行機が動くのかなど、いろいろ不安でした。しかし、大きく予定が変わることなく旅行を終えることができたので本当にうれしかったです。旅行中はホテルでスマホをなくしたり、風が強すぎて傘が壊れたり、いろいろなハプニングが起きましたがそれも含めてすべていい思い出になりました。北海道でロケットを飛ばしたり、自然の中でマウンテンバイクやラフティングを楽しんだり、旭山動物園に行ってホッキョクグマなどの動物を間近で見ることができたりとたくさんの経験がすることができました。修学旅行に送り出してくれた両親に感謝しています。帰ってきてテスト一週間前に入っているの、気持ちを切り替えて目の前のことを頑張っていこうと思います。

## 4組 男子

修学旅行でたくさんのことを学びました。一つは「全員でやることの大切さ」です。修学旅行は予定が組まれているので、時間通りに二百人が動かなければなりません。そのためには全員がしおりをしっかりと読み、遅れそうな人がいれば呼びかけるなど、時間を守るための意識と工夫が必要です。修学旅行ではみんなが時間を見て行動し、無事に帰ってこられたので良かったと思います。

今回学んだことはすべて普段の生活でできることだと思うので、常に意識するようにしていきたいです。今回の修学旅行の成功の裏には先生方や親、ガイドの方などからのサポートがあってこそだと思うので、支えてくださった方への感謝も忘れないようにしたいです。



二日目 各種体験・ラフティング

